

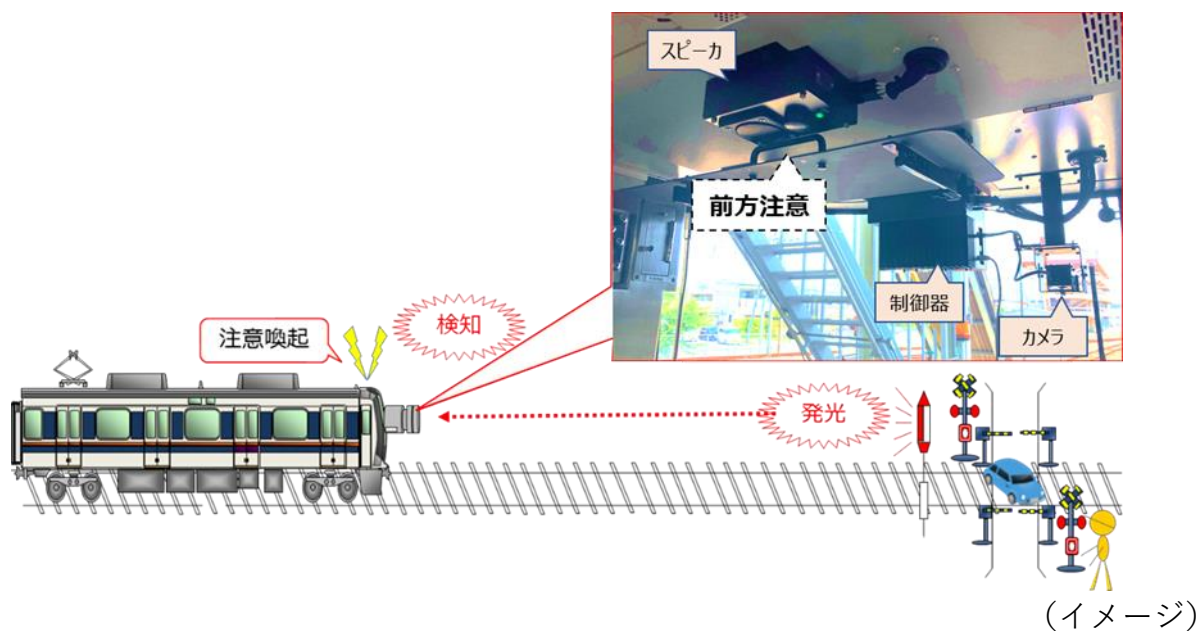
画像を活用した特発音声支援装置の 整備を拡大します

当社は、「JR西日本グループ鉄道安全考動計画2027」における2027年度の到達目標の1つとして踏切安全の向上に向けたハード対策に取り組んでいるところです。

踏切の安全を維持する鉄道システムの充実を図った取り組みの一環として、カメラの画像解析を活用して特殊信号発光機の点滅を検知し、運転士に音声で注意喚起する装置を開発し、2023年度から岡山・福知山エリアで先行導入を行い、良好な結果が得られましたので、整備を拡大していくこととなりましたのでお知らせします。

1. 装置概要

列車の先頭に設置したカメラ映像から特殊信号発光機の赤色発光を識別して検知し、乗務員に音声で知らせるシステム【日本信号(株)と共同開発】



※ 鉄道業界における高解像度カメラを活用した踏切状態の検知・支援システムの導入は本件が初めて（特許登録済）

2. 2023 年度導入数

岡山エリア 16 両

福知山エリア 8 両

3. 今後の導入スケジュール

約 360 両 (2024 年度～2027 年度)

約 220 両 (2028 年度～2032 年度)

今回ご案内の取り組みは、SDGs の 17 のゴールのうち、特に 11 番に貢献するものと考えています。

